

当院における十二指腸乳頭部腫瘍の診療に関する検討

1. 研究の対象

2005 年 1 月以降、当院で十二指腸乳頭部腫瘍、あるいはその疑いと診断された方

2. 研究目的・方法

十二指腸乳頭部腺腫に対する内視鏡的十二指腸乳頭切除術 (Endoscopic Papillectomy; EP) は、外科的手術と比して明らかに侵襲は少なく根治も期待できます。一方、EP は内視鏡的治療の中では偶発症のリスクが比較的高く、局所再発などの問題もあることから、EP の意義・長期予後についてはさらなる検討が必要と考えられます。十二指腸乳頭部癌の標準治療は手術(膵頭十二指腸切除術)です。早期乳頭部癌に対する EP は手術と比して侵襲が少ないですが、リンパ節転移のリスクなどの観点から EP の適応については十分なコンセンサスが得られていないのが現状です。そのため、2005 年 1 月以降当院で十二指腸乳頭部腫瘍、あるいはその疑いと診断された症例について、患者背景、検査結果、内視鏡処置に関連する情報、治療成績、臨床経過、長期予後などの臨床情報を後ろ向きに検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景、検査結果、内視鏡処置に関連する情報、治療成績、臨床経過、長期予後など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川 和良

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川 和良

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181